| 熊本高等専門学校 | | | 開講年度 | 令和04年度(2 | 2022年度) | | | 業科目 技術者倫理概論 | | | |
|--|------------------------------|--|---|---|---|--|--|--|---|--|--|
| 科目基 | | | , | | , | | | , | | | |
| <u>- </u> | | TE1505 | | | 科目区分 | | 専門 / 必 | 修 | | | |
| 授業形態 | ŧ | 授業 | | | 単位の種別と | 単位数 | 学修単位 | | | | |
| 開設学科 | | 情報通信エレ | <i>、</i> クトロニクスエ | | 対象学年 | | 5 | | | | |
| 開設期 | | 後期 | | | 週時間数 | | 2 | | | | |
| 教科書/勃 | 数材 | | E知的財産権制度 プロジェクタ提示 | | け)テキスト」特許庁, | | 「ヒット商品はこうして生まれた」日 | | | | |
| 旦当教員 | | 下田 正寛,山 | 崎 充裕 | | | | | | | | |
| 到達目 | | | | | | | | | | | |
| 3. 特許出 4. 我が国 | 出願に係る書 国におけるも | 類作成に必要な | 事項を理解し, | 明できる. 列について検索し, 基礎的な書類を作成 の行動指針について | だきる. | | べできる. | | | | |
| ルーブ | リック | | | | | | | | | | |
| | | 評価項目 | 1 | | | | 票準的な到達レベルの目安 | | 未到達レベルの目安 | | |
| 平価項目 | 11 | 知的財產法 | 産権の重要性と流 | | 知的財産権の重要性と活用 出法を完全に理解できている 法法 | | | 生と活用 る. | 知的財産権の重要性と活用 法を殆ど理解できない. | | |
| 評価項目 | 12 | 特許の を を を を を を を を を を を を を | 食索法と調査対象 | 豫例 特許の検索法 査対象例を検 とができる. | 査対象例を検索し調べるこ 位 | | 特許の検索法を理解し,具体的な例を検索し調べることができる. | | 特許の検索法を殆ど理解できなく,調査対象例を検索し調べることができない. | | |
| 評価項目 | 3 | 特許出原 | 夏に必要な書類(| 作成 に関する事項 | 特許出願に必要な書類作成 特許出 | | | 景類作成 解できて | 特許出願に必要な書類作成 に関する事項を殆ど理解で きなく,基礎的な書類を作 成できない. | | |
| 評価項目 | 14 | 技術者の |)行動指針 | 企業の置かれ 課題について | るものづくり ている現状と 理解し,技術 動指針を説明 | いる現状と 研究を実施する 解し、技術 な技術者の心 | | | 我が国におけるものづく 企業の置かれている現状 把握について理解できず ,技術者としての行動指 を説明できない. | | |
| <u>学科</u> の | 到達目標 | 項目との関係 | | | | <u>'</u> | | | | | |
| 教育方 | 辻 笙 | | | | | | | | | | |
| 既要 | <u>Д</u> | 財産の重要性 な行動をとる ※実務との関 | を学ぶ. あわせ べきかについて 【係 | せて、我か国のもの 「学ぶ。 | つくり企業の置 | がれてい | る現状と説 | 題を埋解 | 京方法を説明し,演習によった行い,全体を通して知らし、技術者としてどのよう | | |
| 既要 受業の進 | め方・方法 | 財産の重をといる。 ※実のは、第一次のは、第 | を学ぶ、あわせ べきかについて 別係 知的財産権、特 対調師)が担当す :パソコンを使っ で、研究開発を行 に付けさせる科 | で、我が国のもの で学ぶ。 ま許と関連知識・書きる。 かた演習を行う、残 で、知的財産 は目である、また、 | つくり企業の電類作成等についりは課題レポートを対象に関する 変数では、対象では、対象では、対象では、対象では、対象では、対象では、対象では、対象 | iかれてい いて講義形 - トを各自: こる理解を さとして活 | る現状と調 式で授業を が行う. 深め, 今後 躍するため | 題を埋解 行うもの の研究開めの倫理的 | : し、技術者としてどのよう) である。授業は弁理士・打 (発を行う中で, その必要性 (行動を身につけさせる科E | | |
| 既要 受業の進 主意点 | め方・方法 | 財産の重をという。 ※実のは、第一を対している。 ※実のは、第一をが、第一をが、第一をが、第一をが、第一をが、第一をが、第一をが、第一をが | を学ぶ、あわせ べきかについて 別係 知的財産権、特 対調師)が担当す :パソコンを使っ で、研究開発を行 に付けさせる科 | せて、我か国のもの 学ぶ。 | つくり企業の電類作成等についりは課題レポートを対象に関する 変数では、対象では、対象では、対象では、対象では、対象では、対象では、対象では、対象 | iかれてい いて講義形 - トを各自: こる理解を さとして活 | る現状と調 式で授業を が行う. 深め, 今後 躍するため | 題を埋解 行うもの の研究開めの倫理的 | : し、技術者としてどのよう) である。授業は弁理士・打 (発を行う中で, その必要性 (行動を身につけさせる科E | | |
| 既要 受業の進 主意点 受業の | め方・方法 | 財産の重要とでは、 ※このは、 ※このは、 ※このは、 ※このは、 後期で、 で、 等科目に、 等単で、 を主要る。 をとして、 を を を を を を を を を を を を を を を を の は、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 | を学ぶ、あわせ べきかについて 別係 知的財産権、特 対調師)が担当す :パソコンを使っ で、研究開発を行 に付けさせる科 | で、我が国のもの で学ぶ。 ま許と関連知識・書きる。 かた演習を行う、残 で、知的財産 は目である、また、 | つくり企業の電類作成等についりは課題レポートを対象に関する 変数では、対象では、対象では、対象では、対象では、対象では、対象では、対象では、対象 | im かれてい いて講義形: - トを各自: トる理解を: i として活: 家庭での. | る現状と調 式で授業を が行う. 深め, 今後 躍するため | 題を埋解 行うもの の研究開 の倫理的 の自学学習 | : し、技術者としてどのよう) である。授業は弁理士・打 (発を行う中で, その必要性 (行動を身につけさせる科E | | |
| 概要 受業の進 注意点 受業の 〕 アク・ | め方・方法 属性・履 ティブラー: | 財産の重要とでは、 ※このは、 ※このは、 ※このは、 ※このは、 後期で、 で、 等科目に、 等単で、 を主要る。 をとして、 を を を を を を を を を を を を を を を を の は、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 | を字ぶ、あわせ、 べきかについて 1係 知的財産権、特 期講師)が担当す パソコンを使っ 、研究開発を行いて付けさせる 単位である、調 | で、我が国のもの で学ぶ。 ま許と関連知識・書きる。 かた演習を行う、残 で、知的財産 は目である、また、 | つくり企業の置類作成等についりは課題レポー権で特許に関す卒業後、技術者など,放課後・ | im かれてい いて講義形: - トを各自: トる理解を: i として活: 家庭での. | る現状と調 式で授業を が行う. 深め, 今後 躍するため | 題を埋解 行うもの の研究開 の倫理的 の自学学習 | (し、技術者としてどのよう)である。授業は弁理士・抗 関発を行う中で, その必要性 に対動を身につけさせる科目 のが課せられる。 | | |
| 競要 受業の進 注意点 受業の 〕アク・ | め方・方法 属性・履 ティブラー: | 財産の重をとしています。 対象 は 対 が 対 が 対 が 対 が が が が が が が が が が が が | を字ぶ. あわせ べきかについて 別係 知的財産権、特 満師) が担当す パソコンを使っ 、研究開発を行 に付けさせる私 選単位である. 誰 | で、我が国のもの で学ぶ。 ま許と関連知識・書きる。 かた演習を行う、残 で、知的財産 は目である、また、 | つくり企業の置類作成等についりは課題レポー権で特許に関す卒業後、技術者など,放課後・ | in かれてい て講義形 トを各自: はる理解を さとして活 家庭での 対応 | る現状と説 式で授業を が行う. 深め, 今後 で30時間 <i>0</i> | 関を理解でいた。 行うものでの研究開いの倫理的の倫理的 図実 | (し、技術者としてどのよう)である。授業は弁理士・抗 関発を行う中で, その必要性 に対動を身につけさせる科目 のが課せられる。 | | |
| 概要 受業の進 注意点 受業の 〕 アク・ | め方・方法 属性・履 ティブラー: | 財産の重要とでは、 | を字ぶ、あわせ、 べきかについて 1係 知的財産権、特 期講師)が担当す パソコンを使っ 、研究開発を行いて付けさせる 単位である、調 | で、我が国のもの で学ぶ。 ま許と関連知識・書きる。 かた演習を行う、残 で、知的財産 は目である、また、 | つくり企業の置類作成等についりは課題レポー権で特許に関す卒業後、技術者など,放課後・ | in かれてい て講義形 トを各自 おる理解を およるして 家庭での 対応 週ごと | る現状と調 式で授業を が行う. 深め,今後 べ30時間の | 題を埋解れている。 では、 | にし、技術者としてどのようである。授業は弁理士・抗 関発を行う中で、その必要性行動を身につけさせる科目 関が課せられる。 | | |
| 競要 受業の進 注意点 受業の 〕アク・ | め方・方法 属性・履 ティブラー: | 財産の動をといる。※一次のは、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次で | を字ぶ. あわせ べきかについて 別係 知的財産権、特 満師) が担当す パソコンを使っ 、研究開発を行 に付けさせる私 選単位である. 誰 | で、我が国のもの で学ぶ。 ま許と関連知識・書きる。 かた演習を行う、残 で、知的財産 は目である、また、 | つくり企業の置類作成等についりは課題レポー権で特許に関す卒業後、技術者など,放課後・ | がれていいて講義形では、 - トを理解できる。 対応 | る現状と説式で授業をが行う. 今後が深曜するため べ30時間の で の到達目標 を で の で を で で で で で で で で で で で で で で で | 題を埋解れている。 での研究開いの倫理的の自学学習 図実 | (し、技術者としてどのよう)である。授業は弁理士・抗 関発を行う中で, その必要性 に対動を身につけさせる科目 のが課せられる。 | | |
| 概要 受業の進 主意点 受業の □ アク・ | め方・方法 属性・履 ティブラー: | 財産の動をとしています。 対象 は 対 | を字ぶ、あわせ べきかについて 別係 知的財産権、特 ガソコンを使っ が研究開発を行 に付けさせる 選単位である。 調 ICT 利用 | で、我が国のもの で学ぶ。 ま許と関連知識・書きる。 かた演習を行う、残 で、知的財産 は目である、また、 | つくり企業の置類作成等についりは課題レポー権で特許に関す卒業後、技術者など,放課後・ | in the state of | る現状と説式で授業をが行う. 今後が深でであるため べ30時間の で の到達目標 に 知的財産 に かけ | 題を埋解に行うものはの研究開いている。の研究開いている。の研究開いている。の自学学型 図 実際 関と概要に関する。 | である。授業は弁理士・抗 別発を行う中で、その必要性 に対象を身につけさせる科目 関が課せられる。 一般経験のある教員による授 | | |
| 既要 受業の進 主意点 受業の | め方・方法 属性・履 ティブラー: | 財産的 | を学ぶ、あわせ、 できかについて 知所的財産権とは 知所の財産権とは がソコンを使って がいてがませる。 がはである。 ははである。 ははである。 ははである。 はいのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでので | で、我が国のもの で学ぶ。 ま許と関連知識・書きる。 かた演習を行う、残 で、知的財産 は目である、また、 | つくり企業の置類作成等についりは課題レポー権で特許に関す卒業後、技術者など,放課後・ | がれて講 を講 を解てででの の の の の の の の の の の の の の | る 現状と 就で授業を が深でで が深ですう。 今ため で で で で で で で で で で の の の 到達 種 知 に の の の の の の の の に の に の の に に の に に の に に に に に に に に に に に に に | 題を理解 行うもの の研究開めの自学学 図 実 要と概の活 要件の 音楽 | である。授業は弁理士・抗 別発を行う中で、その必要性 に対すを身につけさせる科目 のが課せられる。 のが課せられる。 のが課せられる。 のが課せられる。 のが課せられる。 のが課せられる。 | | |
| 既要 受業の進 主意点 受 業 の | め方・方法 属性・履 ティブラー: 画 | 財産的 | を学ぶ、あわせてきかについては、特別の対象を行うできたがについては、特別の対象を担当を使ってが、特別の対象を行うに付けてある。 「「「「「「「「「「」」」 「「」「「」」 「「」「「」」 「「」 「「」 「「」 「「」 「「」 「」 「「 「 | で、我が国のもの で学ぶ。 ま許と関連知識・書きる。 かた演習を行う、残 で、知的財産 は目である、また、 | つくり企業の置類作成等についりは課題レポー権で特許に関す卒業後、技術者など,放課後・ | to Time Time Time Time Time Time Time Time | る現状と説式で授業を が深ででであり、 が深でする。 「であり、 「ないでではないでは、 「ないではないでは、 「ないではないでは、 「ないではないでは、 「ないではないでは、 「ないでは、 「ないでは、 「ないでは、 「ないでは、 「ないでは、」 「でいる。 「でいる。」 「でいる。」 「でいる。」 「でいる。」 「でいる。 「でいる。」 「でいる。 「でいる。」 「でいる。 「でいる。 「でいる。 「でいる。 「でいる。 「でいる。 「でいる。 「でいる。 「でいる。 「でいる。 「で、 「でいる。 「で、 「で、 「で、 「で、 「で、 「で、 「で、 「で、 「で、 「で、 | 題を理解に行うものの一般のの倫学学 実質を機のを受ける。 これを表しています。 これをままります。 これをままりまりまりまり。 これをままりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりま | である。授業は弁理士・抗 別発を行う中で、その必要性 に対すを身につけさせる科目 関が課せられる。 一般経験のある教員による授 こついて理解し、説明でき について理解し、説明でき について理解し、説明でき について理解し、説明でき にいて理解し、説明でき | | |
| 概要 受業の進 主意点 受業の □ アク・ | め方・方法 属性・履 ティブラー: | 財産的 財産的 対して 対して | を学ぶ、あついて を学ぶ、あついて ができかについ、特別 にの対象を権担が、大田のでは、 にが、大田のでは、 には、「大田のでは、 には、 には、「大田のでは、 には、「大田のでは、 には、「大田のでは、 には、「大田のでは、 には、「大田のでは、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 に | で、我が国のもの で学ぶ。 ま許と関連知識・書きる。 かた演習を行う、残 で、知的財産 は目である、また、 | つくり企業の置類作成等についりは課題レポー権で特許に関す卒業後、技術者など,放課後・ | がれて 講 を 理し 庭 が | る 現状と 就で授業を が深躍する。 が深躍するの 一の 一の 一の 一の 一の 一の 一の 一の 一の 一 | 題を理解に行うものの研究理のの倫学学と概のを関係を関係を関係を関係を表しています。 | である。授業は弁理士・抗 別発を行う中で、その必要性 行動を身につけさせる科目 別が課せられる。 一般経験のある教員による授 こついて理解し、説明でき 用例について理解し、説明でき 制例について理解し、説明 手続の流れまでを理解し 則侵害までを理解し、説明 | | |
| 受業の進 主意点 受業計 | め方・方法 属性・履 ティブラー: 画 | 財産行数 財産 財産 財産 対象 対象 対象 対象 対象 対象 対象 対 | を学ぶ、あついて ができかについて 知のは、 知のは、 知のは、 について、 について、 について、 にのは、 | で、我か国のもの一学ぶ。 計計と関連知識・書いる。 かた演習を行う、残いで、知的財産、日である。また、 はである。また、 | つくり企業の置類作成等についりは課題レポー権で特許に関す卒業後、技術者など,放課後・ | が で が で が で が で が で が で が で が が が は が で が が が が が が が が が が が が が | る式が深躍べるの時間の一般を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を | 型を埋めている。 でのの自営では、大きなのの自営では、大きなのの自営では、大きなのの自営では、大きなのの自営では、大きなのの自然では、大きなのでは、まないでは、まなのでは、まないでは、まな | である。授業は弁理士・抗 別発を行う中で、その必要性 に動を身につけさせる科目 関係を行う中で、その必要性 に対する。 関が課せられる。 一般について理解し、説明できまりが 手続の流れまでを理解し 可して理解し、説明できまりである。 可してではないではない。 では、説明できまでを理解し、説明できまでを理解し、説明できまでを理解し、説明できまでを理解し、説明できまた。 | | |
| 競業の進 注意点 受業 アク・ 受業計 | め方・方法 属性・履 ティブラー: 画 | 財産行家 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日 | を対して を対して がいて がいて がいた。 がし。 がいた。 がした。 がした。 がした。 がした。 がした。 がした。 がした。 がした。 がした。 | で、我か国のもの 一学ぶ。 持許と関連知識・書 一名。 かた演習を行う、残 行う上で、知的財産 付替である。また、 のである。 の。 のでの。 のである。 のである。 ので。 のである。 ので。 ので。 ので。 ので。 ので。 ので。 ので。 ので。 ので。 ので | つくり企業の置類作成等についりは課題レポー権で特許に関す卒業後、技術者など,放課後・ | が で は が で が で が で が で が で が で が で が で が が で が で が の ま も の ま の る の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の る の る の ま の る の る の る の る の る の る の る の る の る の る の る の る の る の る の の の の の の の の の の の の の | る 式 が深躍 べ の | 題を で は で で で で で で で で で で で で で で で で で | にし、技術者としてどのようである。授業は弁理士・抗 別発を行う中で、その必要性 行動を身につけさせる科目 関が課せられる。 一般経験のある教員による授 こついて理解し、説明できましていて理解し、説明 では、説明できまでを理解し、説明できまってでは、説明できまでを理解し、説明できまっていて理解し、説明できまっていて理解し、説明できまっていて理解し、説明できまっていて理解し、説明できまっていて理解し、説明できまっていて理解し、説明できまっていて理解し、説明できまっていて理解し、説明できまっていて理解し、説明できまっていて理解し、説明できまっていて理解し、説明できまっていて理解し、説明できまっていて理解し、説明できまっていて理解し、説明できまっていて理解し、説明できまっていて理解し、説明できまっていて理解し、説明できまっていて理解し、説明できまっている。 | | |
| 照要 受業の進 でででできます。 受業計 | め方・方法 属性・履 ティブラー: 画 | IRA | を | で、我か国のもの 一学ぶ。 持許と関連知識・書 一名。 かた演習を行う、残 行う上で、知的財産 付替である。また、 のである。 の。 のでの。 のである。 のである。 ので。 のである。 ので。 ので。 ので。 ので。 ので。 ので。 ので。 ので。 ので。 ので | つくり企業の置類作成等についりは課題レポー権で特許に関す卒業後、技術者など,放課後・ | が で は が で が で が で が で が で が で が で が で が が で が で が の ま も の ま の る の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の ま の る の る の ま の る の る の る の る の る の る の る の る の る の る の る の る の る の る の の の の の の の の の の の の の | る 式 が深躍 べ の | 題を で は で で で で で で で で で で で で で で で で で | にし、技術者としてどのようである。授業は弁理士・技術を行う中で、その必要性行動を身につけさせる科目が課せられる。 一般経験のある教員による授助ででも関がについて理解し、説明できまでを理解し、説明できまでを理解し、説明できたついて理解し、説明できなって理解し、説明できたのででは、説明できたを理解し、簡単な書類を推しいことを実体験し、特性しいことを実体験し、特殊を見いてとを実体験し、特殊を見いている。 | | |
| 競業の進 注意点 受業か □ アク・ | め方・方法 属性・履 ティブラー: 画 | 財産行業 | を対して で | で、我か国のもの「学ぶ。 詩許と関連知識・書「る。」 かた演習を行う、残 行う上で、知的財産、 付きである。また、 のである。 ので。 のである。 のでる。 のである。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 のである。 ので。 のでる。 ので。 のでる。 ので。 のでる。 ので。 ので。 ので。 ので。 ので。 ので。 ので。 ので | つくり企業の置類作成等についりは課題レポー権で特許に関す卒業後、技術者など,放課後・ | が で で が で が で が で が で が で が で が の が の が で の が の に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に に に 。 に 。 に に に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 | る 式 が深躍 べ の 産 ハ おき お 特 特 順 の で 囲 い に で 田 川 、 順 の で 囲 い に か に で 田 川 、 順 の で 囲 い に か に か に か に か に か に か に か に か に か に | 題に行いているのとのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ | にし、技術者としてどのようである。授業は弁理士・技 別発を行う中で、その必要性 行動を身につけさせる科目 が課せられる。 務経験のある教員による授 こついて理解し、説明できまでを理解し、説明できまでを理解し、説明できまでを理解し、説明できまって理解し、説明できまって理解し、説明できまって理解し、説明できまって理解し、説明できまって理解し、説明できまって理解し、説明できまっては、説明できまった。 | | |
| 既要 受業の進 主意点 受 業 の | め方・方法 属性・履 ティブラー: 画 | 財産行業 | を | で、我か国のもの「学ぶ。 持許と関連知識・書「る。」 かた演習を行う、残 行う上である。また、 行う上である。また、 情許と以ポート作成 | つくり企業の置類作成等についりは課題レポー権で特許に関す卒業後、技術者など,放課後・ | が で は で で で が で が で が で が で が で が で が の の の の の の の の の の の の の | る 式 が深躍 べ の産 (こてに) い た権 書と の特 は 対 で 行めす 30時 | 題で、行のの自りでは、大きのでは、までは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、までは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、までは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、までは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、までは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、までは、までは、までは、までは、までは、までは、までは、までは、までは、ま | にし、技術者としてどのようである。授業は弁理士・技会を行う中で、その必要性行動を身につけさせる科目が課せられる。 一般経験のある教員による授いて理解し、説明できまでを理解し、説明できまでを理解し、説明できまでを理解し、説明できなこついて理解し、説明できなこついて理解し、説明できなと変とすり、について理解し、説明できなとを実体験し、できまなし、常となり、になっては、説明できないのでは、説明できない。このにないます。 | | |

| | 12 | 2週 - | 一人前の技術者と | | して備えておくべき倫理観 | | 技術士法第4章, 倫理綱領, 研究活動における倫理について理解し, 説明できるとともに, 公益通報者保護法の概要について理解し, 説明できる. | | | |
|-------------------|-------------------------|-------------------------|-----------|-------------------|---|---|---|-----------------|------------------|---------|
| | 13 | 3週 法律 | | | | 労働法規,製造物責任法,個人情報保護法等についての基本的知識について理解し,説明できる. | | | | |
| | 14 | 4週 法律の | | 津の遵守(2)・リスクと技術者倫理 | | 男女共同参画社会、ダイバーシティ推進政策等の政策の概要について理解し、説明できる。 リスク、リスクマネジメントの概要について理解し、説明できるとともに、技術者の行動基準にしたがって行動できると | | | | |
| | | | | | | | (第8回から第15回までの内容を出題する。) | | | |
| | | | | | | | 答案返却, 社会に出る学生に対してアドバイスを行う | | | |
| モデルコ ^ー | ーーー アカリキっ | ラムの | 学習 | 内容と到達 | | | • | | | |
| 分類 分野 | | | 学習内容 | | 学習内容の到達目標 | | | 到達レベル | 授業週 | |
| | | | | | 説明責任、製造物責任、リスクマネジメントなど、技術者の行動 に関する基本的な責任事項を説明できる。 | | | 者の行動 | 3 | 後1,後11 |
| | | | | | こ関する基本的な責任事項を説明しさる。 現代社会の具体的な諸問題を題材に、自ら専門とする工学分野に 関連させ、技術者倫理観に基づいて、取るべきふさわしい行動を 説明できる。 | | | 学分野にい行動を | 3 | 後11 |
| | | | | | 技術者倫理が必要とされる社会的背景や重要性を認識している。 | | | ている。 | 3 | 後11 |
| | | | | | 社会における技術者の役割と責任を説明できる。 | | | | 3 | 後12,後14 |
| | | | | | 情報技術の進展が社会に及ぼす影響、個人情報保護法、著作権などの法律について説明できる。 | | | 著作権な | 3 | 後11 |
| | | | | | 高度情報通信ネットワーク社会の中核にある情報通信技術と倫理 との関わりを説明できる。 | | | 3 | 後14 | |
| | | | | | 環境問題の現状についての基本的な事項について把握し、科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響を説明できる。 | | | 3 | 後12 | |
| | | 技術者倫理 | | | 環境問題を考慮して、技術者としてふさわしい行動とは何かを説明できる。 | | 3 | 後12 | | |
| | | | | 技術者倫理 | 国際社会における技術者としてふさわしい行動とは何かを説明できる。 | | 3 | 後1,後2,後 3 | | |
| 基礎的能力 | 工学基礎 | (知的財産 法令順守、 | 産、 f、 | (知的財産、 法令順守、 | 過疎化、少子化など地方が抱える問題について認識し、地域社会 に貢献するために科学技術が果たせる役割について説明できる。 | | | 3 | 後9,後14 | |
| 至此576677 | 工,至此 | 持続可能性 を含む)およ び技術史 | | # 持続可能性 | 知的財産の社会的意義や重要性の観点から、知的財産に関する基本的な事項を説明できる。 | | | 3 | 後2,後3,後 13 | |
| | | | | | 知的財産の獲得などで必要な新規アイデアを生み出す技法などに ついて説明できる。 | | | 3 | 後13 | |
| | | | | | 技術者の社会的責任、社会規範や法令を守ること、企業内の法令順守(コンプライアンス)の重要性について説明できる。 | | | 3 | 後3,後4,後 5,後13 | |
| | | | | | 技術者を目指す者として、諸外国の文化・慣習などを尊重し、それぞれの国や地域に適用される関係法令を守ることの重要性を把握している。 | | 3 | 後3,後4,後 5 | | |
| | | | | | 全ての人々が将来にわたって安心して暮らせる持続可能な開発を 実現するために、自らの専門分野から配慮すべきことが何かを説 明できる。 | | な開発を 何かを説 | 3 | 後10,後 11,後12 | |
| | | | | | 技術者を目指す者として、平和の構築、異文化理解の推進、自然 資源の維持、災害の防止などの課題に力を合わせて取り組んでい くことの重要性を認識している。 | | 進、自然 組んでい | 3 | 後10,後 11,後12 | |
| | | | | | 科学技術が社会に与えてきた影響をもとに、技術者の役割や責任 を説明できる。 | | 割や責任 | 3 | 後10,後 11,後14 | |
| | | | | | 科学者や技術者が、様々な困難を克服しながら技術の発展に寄与 した姿を通し、技術者の使命・重要性について説明できる。 | | 3 | 後10,後 11,後14 | | |
| | | | は学にと創います。 | | 工学的な課題を論理的・合理的な方法で明確化できる。 | | | 3 | 後10 | |
| | | | | | 公衆の健康、安全、文化、社会、環境への影響などの多様な観点から課題解決のために配慮すべきことを認識している。 | | | 3 | 後14 | |
| △◇田区+井座へや | 総合的な学 | 学 総合的な | | | 要求に適合したシステム、構成要素、工程等の設計に取り組むことができる。 | | | り組むこ | 3 | 後14 |
| 分野横断的 能力 | 総合的な学 習経験と創 造的思考力 | 習経験を造的思え | | | 課題や要求に対する設計解を提示するための一連のプロセス(課題認識・構想・設計・製作・評価など)を実践できる。 | | | 3 | 後10 | |
| | | | | | 提案する設計解が要求を満たすものであるか評価しなければならないことを把握している。 | | | 3 | 後10 | |
| | | | | | 経済的、環境的、社会的、倫理的、健康と安全、製造可能性、持続可能性等に配慮して解決策を提案できる。 | | | 3 | 後10 | |
| 評価割合 | | | | | - | | - | | | |
| 試験 | | | | | レポート 合計 | | | | | |
| 総合評価割合 | | | | 70 30 | | | 100 | | | |
| 総合評価割合 | | | | 70 30 | | | | TUU | | |